

平成25年度公共事業評価部会の開催状況について

平成26年3月24日

公共事業評価部会

1. 報告対象事業

(1) 事業名

筒砂子ダム建設事業

(2) 事業の目的

鳴瀬川水系上流域に多目的ダムを建設し、既設の漆沢ダム等と併せて鳴瀬川総合開発の一環をなすものであり、本ダムの建設により、洪水調節を行うことで、沿岸流域の治水安全度の向上が図られるほか、下流域の農地へのかんがい用水の補給や流水の正常な機能の維持に必要な流量を補給するものである。

2. 公共事業評価部会意見への対応

(1) 部会開催日時

平成25年7月12日

(2) 部会意見への対応状況

ダム事業の検証に係る検討について、国土交通大臣から要請（H22.9.28）を受け、「筒砂子ダム建設事業の関係地方公共団体からなる検討の場」を設置し、関係住民及び学識経験者、関係利水者等に意見聴取した結果を踏まえ、県の対応方針を作成した。

【対応方針】

「ダム事業の検証に係る検討に関する再評価実施要領細目」に基づき、鳴瀬川総合開発事業と筒砂子ダム建設事業の検証に係る検討を共同で行った結果、両事業を統合し、筒砂子ダム規模拡大と漆沢ダム（既設）との容量再編により田川ダムを中止する案が最も有利である。

したがって、鳴瀬川総合開発事業と筒砂子ダム建設事業を統合することとし、直轄河川への事業効果に鑑み、鳴瀬川総合開発事業として調査を「継続」し、筒砂子ダム建設事業を「中止」することが妥当であると考えられる。

なお、事業の進め方の詳細については今後調整することとしている。

【事業概要】

予 定 地：加美郡加美町字宇津野地内

ダム形式：中央コア型ロックフィルダム

建 設 費：約1,111億円

参 考

【平成23年度審議結果】

答 申：継続妥当

意 見：国土交通省におけるダム検証の対象とされていることから、新たな段階には入らず、現段階（調査・地元説明）を継続するものとし、ダム検証結果を踏まえ、改めて公共事業再評価を実施すること。

事業位置図

